



Eiche

# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 清和会第2ワールドナースィングホーム

Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

## 東日本大震災に寄せて

会長 宗宮好和

日独友好150年を祝うべきこの年が、思ってもみない年になりました。これほどの悲慘があり得るのかと思わせる災害です。大地震、大津波、原発事故、そして風評被害。この大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様やそのご親族・ご友人に対して心からお見舞い申し上げます。

不幸なことに千葉県も被災し、被害の惨状がテレビの画面に映し出されています。当協会の会員の中に亡くなられた方がいなかったのはせめてもの慰めですが、家屋、家財の被害を受けられた方々がいると聞いています。いつときも早い復興を願うと同時になにか私たちにできることをしたいと思わずにはいられません。

そこで、下記のように「東日本大震災に被災された千葉県内の方々への義援金」を募集することになりました。会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

## 東日本大震災に被災された千葉県内の方々への義援金を募集

3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

この大震災は広範囲な地域に大被害をもたらしましたが、当協会の活動基盤である千葉県も大きな被害を受けております。県内では死亡者と行方不明者を合わせると19名に達し、非常に多くの住宅等が壊滅的な被害を受けました。特に旭市は甚大な被害を被っていることはご存知の通りです。幸いにして同市に住む当会の大友勝廣会員や菅谷博会員は大きな被害は無かったとの事ですが、旭市に限らず被害を受けておられる会員がおられると思います。そこで当協会としては、下記のとおり義援金を募集して千葉県の被災者の皆様にお役に立てたいと思っております。会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

なお、ご協力いただきました義援金は千葉県災害対策本部にお届けする予定です。

会長 宗宮好和

記

募集期間： 2011年5月14日(土)まで

支払先： ・ ゆうちょ銀行 千葉県日独協会 振込口座番号 00180=4=30279

(同封のゆうちょ銀行の払込用紙のご利用が便利です。尚、年会費と合算して振り込んで頂いても結構です。その場合には義援金金額を通信欄にご記入ください。)

・ 一般の銀行からゆうちょ銀行に振込む場合には、次の宛先に振り込んで下さい。

[店名] ○五八 (読み ゼログハチ) [店番] 058 [預金種目] 普通預金

[口座番号] 5279478 (7桁・千葉県日独協会)

・ 又 現金でも受け付けます。総会等の機会にお支払いください。

義援金額： 1,000円単位でお願い致します。

以上

## — 今後の主な催し物案内 —

### 1. 第二回「ボトルシップ研究会」

日時: 4月16日(土) 15:30~17:30

場所: 船橋市東部公民館(津田沼駅北口、徒歩5分)

テキスト: 「ドイツ兵士の見たニッポン」

定員: 20人

申込先: 須古正恒(理事) メール suko15921@nifty.com

### 2. 年次総会

・日時: 5月14日(土) 14:00~17:30

・場所: フローラ西船(JR 総武線西船橋駅徒歩3分)

(TEL: 0120-262427)

・式次第: 総会 14:00~15:00

講演 15:10~16:00

講師・演題 宗宮会長「ドイツ語の意味論」

・懇親会: 16:10~17:30

・会費: 5,000円

・申込み: 同封の葉書にてお願いします。

### 3. 日独交流150周年記念行事(DieEicheNo69 参照)

1) 記念講演会: 東日本大災害・原発事故の為、当会が6月20日(月)(前号でご案内の8月は誤りにつき陳謝、訂正致します)に予定していた講演会開催の可否につき運営委員会で検討結果、その趣旨に鑑み、諸般の状況が許す限り開催する事に決定。4月末の状況を踏まえ改めてご案内します。

2) 記念菩提樹: 当会30本の受入先を決定済みのところ、福島県所在の生産者が大地震により出荷不能となり、善後策につき目下ドイツ大使館が検討中。

3) 日独両連合会パートナー会議: 大震災の為日程を4月25、26日のみに変更、25日に震災物故者の慰霊、被災者の安寧、復興祈願の儀式の後パートナー会議を開催予定。ドイツよりの参加者はフォンドラン独日協会連合会会長以下27名、当会は宗宮会長他3名が参加予定。

## 「ボトルシップ研究会」発足

会報 No.69 でもお知らせ致しましたが、第一次世界大戦後、習志野俘虜収容所に収容されていたドイツ将兵に関する第1回ボトルシップ研究会が2月19日午後、船橋市高根台公民館で開催されました。当日は、定員20人のところ15人の出席であったが、非常に活発な意見が交わされ、幸先の良いスタートを切りました。まずは宗宮会長の挨拶、出席者全員の自己紹介後、千葉大学人文社会科学研究院院生の栗原久定氏の習志野俘虜収容所の歴史的な意味と、1910年代のドイツのアフリカ植民地化政策について説明があり、それに対する質疑応答が熱心に行われました。その後、当研究会の進め方について確認、並びに提案・検討しました。確認事項としては、研究会は偶数月の第3土曜日午後、場所は船橋市の公民館で開催すること。提案・検討事項としては、ホームページを立ち上げ、広く国内外から習志野俘虜収容所関係の情報を収集することと、板東俘虜収容所跡・鳴門ドイツ館視察、中国青島の旧ドイツ総督府等視察、俘虜の関係したドイツレストランでの会食等の課外活動も検討しました。

## 社団法人デュッセルドルフ独日協会アム・ニーダーラインからのお見舞い状

2011年3月12日 デュッセルドルフ

拝啓、宗宮会長殿

社団法人デュッセルドルフ独日協会アム・ニーダーラインは東北日本の惨事を知り大変驚いております。千葉の映像もテレビで見ることができました。独日協会アム・ニーダーラインは貴殿ならびに千葉県日独協会のすべての会員の方々に心からのお見舞いを申し上げます。私たちはこの困難なときを迎えられました皆様と日本中の皆様のことを憂慮いたしております。どんなに地理的に遠く離れていようとも、ドイツの仲間たちが皆様のことを気遣っていることを、どうか、忘れないでください。もし私たちにお手伝いできることがございましたら、遠慮なくお知らせください。

病床にある当協会会長、ローレンツ博士に代わり、

独日協会の理事、顧問、会員を代表して

副会長 Prof.Dr.ヴェルナー・パシヤ

-----  
振込用紙を同封しますので、年会費の納入をお願い致します。  
-----

## ○グローバルフェスタ出展報告

平成22年度のグローバルフェスタは去る2月6日に千葉大学で開催された。この催し物は、千葉県、ちば国際コンベンションビューローなどの共催により、県民の国際交流に対する関心を高め、身近に活動事例を紹介したり、国際交流団体相互のネットワーク作りに役立てようと企画されたもので、今回で4回目。今回はこれまでとは趣向を変え、当協会とドイツとの交流活動を写真で説明すると共に、タカラ食品工業株式会社様のご協力により、ドイツソーセージの販売をし、更に会員道野真知子さんにはトルペインティング作品の展示・販売をしていただきました。昨年までは8月下旬に開催されていましたが、今回は寒い2月の開催となり、参加者も少な目でした。しかし、中には熱心に説明を求める参観者もおり、今後この催し物に出展する場合には更に工夫する必要があると感じました。最後にご協力いただいたタカラ食品工業株式会社様、道野真知子様はこの紙面を借りて、厚くお礼申し上げます。(常任理事 舘野鷹二郎)

当協会のテント

